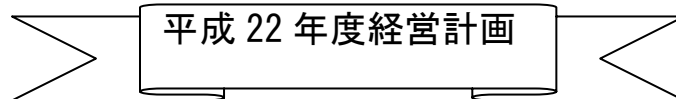


平成 22 年度経営計画について

当協会は、去る 3 月 24 日の理事会において平成 22 年度経営計画を次のとおり決定いたしました。



1. 業務環境

(1) 静岡県の景気動向

最近の静岡県内の経済情勢は、在庫調整の進捗や経済対策効果等から一部で下げ止まり、持ち直しの動きが見られております。特に輸出は、自動車・同部品をはじめとして新興国や資源国を中心に需要が増加しており、全体的に持ち直しつつあります。

一方で、企業の設備投資は、米欧を中心とする世界経済の先行き不透明感や企業収益の著しい減少等により、機械投資の先行指標である機械受注の大幅な減少が続いており、また、雇用・所得環境においても全体として冷え込むなど、依然として厳しい状況が続いております。

このように、静岡県内の経済は、一部で持ち直しの動きが見られるものの、先行きが不透明なことから当面厳しい状況が続くと見られております。

(2) 中小企業を取り巻く環境

輸送機器関連産業が集積する県内西部地区は、リーマンショック以降、輸出の大幅な減少等により大きな打撃を受けましたが、自動車・同部品産業では在庫調整の進捗等により持ち直しの動きが見られる一方で、二輪車・同部品産業は落ち込みが続くなど、業種によっても回復の差が表れてきております。大手製造業の下請けとして足下から支える中小企業にとっては、受注獲得に向けた競争が一層厳しくなっております。

商業を中心とする県内中部地区は、西部地区に比べて大きな打撃を受けておりませんが、個人消費の冷え込みが体力を奪っており、先行きの不透明感は強くなっております。

県内東部地区の主要産業である伊豆の旅館・ホテル業は、厳しい雇用・所得環境が続く中、宿泊客数は低調に推移しており、引き続き個人所得は冷え込みが続くと見られることから、今後も厳しい状況が続くと見られております。

以上のとおり、県内各地の代表的な産業はそれぞれ厳しい環境下にあり、中小企業にとっても、経営環境が回復するまでには相当の時間を要するものと推測されます。

2. 業務運営方針

こうした情勢を踏まえ、当協会は、国及び地方公共団体の施策に迅速に対応するとともに、中小企業者のニーズに的確に応えるなど、顧客サービスの充実に努めるため、以下のとおり業務体制の充実に図ってまいります。

(1) 政策への取り組みの強化

「明日の安心と成長のための緊急経済対策」において決定された景気対応緊急保証をはじめとした政策保証に積極的に取り組み、資金繰りを支援していくほか、引き続き返済猶予等の条件変更にも柔軟に対応します。

また、従来は保証の取扱いが難しかった返済猶予先への前向きな資金について、モラルハザードに配慮した上で、金融機関との協調により支援していく仕組み作りをしたことから、一步踏み込んだ資金繰り支援にも積極的に対応します。

事業環境や産業構造の変化に対応すべく、中・長期的な成長分野へ新たに進出または事業転換する中小企業者に対して積極的に支援していく策も検討します。

このほか、商工団体や金融機関との勉強会等を通じて、情報交換を図るとともに、保証制度の理解と普及に努めるなど、保証推進活動を強化します。

(2) 経営支援・再生支援体制の強化

営業時間内に来店できない中小企業者を対象とした夜間相談窓口を開設し、業務統括課・経営相談課等において経営相談に応じます。

このほか、新規先や大口保証先、特定社債・経営革新など特別な保証制度の利用先に対しては「企業訪問によるフォローアップ」を実施し、また、条件変更先や急激に業績が悪化した先に対しては中小企業診断士の資格を有する職員を主体として経営支援業務の強化に努めます。

また、再生支援に関しては、引き続き中小企業再生支援協議会等関係機関と緊密に連携をとることで再生支援業務の促進を図ります。

(3) 初期調整活動の強化

金融機関との連携により、企業情報の共有化を図り、事故報告段階における企業の実態把握に努めます。また、金融円滑化法の趣旨に則り積極的な初期調整活動によって資金繰りの是正を図ることで、企業の事業継続を支援するとともに代位弁済の抑制に努めます。

(4) コンプライアンス態勢の強化・充実

コンプライアンス統括の専任部署としてコンプライアンス室を新設します。従来は、総務部が担当をしておりましたが、経営におけるコンプライアンスの重要性がより一層高まっていることから、新たに独立した部署を設けて、コンプライアンスに関する事項につい

て適切かつ迅速に対応します。

3. 事業計画

平成 22 年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

項目	年度	平成 22 年度		
		金額	対前年度計画比	対前年度実績見込比
保証承諾		670,361	100.9%	93.9%
保証債務残高		1,862,300	112.2%	103.3%
代位弁済		40,500	121.3%	99.4%
実際回収 (元金、損害金の合計額)		7,825	99.7%	108.9%